



# みどりの里

宇奈月小学校だより  
第 12 号  
令和 2 年 3 月 16 日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1  
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>  
E-mail [unazuki-es@tym.ed.jp](mailto:unazuki-es@tym.ed.jp)

## 一年を振り返って

校長 四杉 昭康

臨時休業中、子供たちは外出を控え、各家庭等で家庭学習を中心に過ごすなど、これまであまり経験したことのない生活をしてきたことと思います。保護者の皆様には、今回の取組にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。休業中の持ち物の引き取りや家庭訪問、さらに本日 3 月 16 日 (月) からの学校再開に対しても、多大なるご配慮をいただきましたことに心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスによる感染は決して予断を許さない状況にあり、学校では今後も状況を注視し、感染拡大防止に努める所存です。

さて、いよいよ令和元年度末を迎えました。この一年間を振り返ってみますと、まず新しい元号の始まりに、日本の歴史と伝統の素晴らしさを改めて感じるとともに、新しい時代に希望を膨らませながら取り組んできたことを思い返します。学校では、どの学年の子供たちも、この一年を通して大きな成長を遂げたことを大変嬉しく思います。特に、地域の皆さんとの交流や地域の特徴を生かした学習に、十分に取り組むことができました。そして、それらを通して郷土の素晴らしさに触れ、自然を守り、伝統や文化を受け継ぎ、地域の一員としての意識を高めたものと思います。



久しぶりの学校再開の中、活動する子供たち

富山県 PTA 連合会は、「子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」を基本理念として、設立当初から活動しています。こうした家庭と学校、地域の三者がそれぞれに関わり合って役割を果たすことで、子供は心豊かにたくましく成長するものと思います。この一年間の成果と課題を明確にし、今後もオール宇奈月による教育の充実を一層進めてまいります。

なお、今回の号では、一年間取り組んできた三つのアクションプランについても掲載しましたので、ご一読ください。第 2 回学校評議員会の開催は残念ながら見送らせていただきましたが、評議員の皆様からお寄せいただいたご意見を外部評価として掲載しています。そして、次年度への課題としてさらに改善を図ってまいります。

いよいよ明日は卒業証書授与式を開催いたします。規模を縮小し、在校生や来賓は参加しないこととなりましたが、卒業生に対しては精いっぱい気持ちで送り出したいと考えております。また、在校生に対しても残された時間を大切にしながら総まとめを確実にを行い、進級への準備をしたいと考えます。この一年間のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、今後もよろしく願いいたします。

◇アクションプラン2 (なかよくする子・きれいなこころの子)

重点課題	◆互いを思いやる人間関係づくり (挨拶が響きあう学校を目指して)																																							
具体目標 数値指数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分から進んで挨拶をすることができる」と感じている子供の割合 80%以上</li> <li>・「家族で必ず朝の挨拶を交わしている」家庭の割合 80%以上</li> </ul>																																							
今年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・ボランティア委員会が毎朝学校の各所で朝の挨拶運動を実施する。</li> <li>・学期毎に挨拶月間を設け、全校児童月1回以上の挨拶運動への参加を推進する。</li> <li>・1・3学期は企画・ボランティア委員会を中心に、挨拶運動を活性化する企画を提案する。2学期は、各学級で話し合い、より明るい挨拶を目指した提案をしてもらい、実践する。</li> <li>・「あさがおさいたタイム」を活用して、互いに認め合い、折り合いを付けながら生活をしていく関係を築く学校・学級運営を行う。</li> <li>・ねらいと目的を明確にした縦割り班活動を実施し、学年に応じた振り返り活動を行うことで異学年の友達と触れ合うよさを味わう。</li> <li>・教育活動全体を通して道徳教育と関連付けて指導する。</li> </ul>																																							
結果	<p>児童・保護者アンケート「自分から進んで挨拶をすることができる」</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">児童</th> <th colspan="2">保護者</th> </tr> <tr> <th>1 学期</th> <th>3 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86.8%</td> <td>87.7%</td> <td>77.5%</td> <td>70.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">保護者アンケート「家族で必ず朝の挨拶を交わしている」</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 年</th> <th>2 年</th> <th>3 年</th> <th>4 年</th> <th>5 年</th> <th>6 年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学期</td> <td>69.2%</td> <td>70.4%</td> <td>81.3%</td> <td>78.0%</td> <td>81.1%</td> <td>78.3%</td> <td>76.4%</td> </tr> <tr> <td>3 学期</td> <td>73.0%</td> <td>66.6%</td> <td>53.3%</td> <td>61.9%</td> <td>65.7%</td> <td>65.2%</td> <td>64.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分から進んで挨拶をすることができた」に関するアンケートでは、児童回答 87.7% (前回 86.8%)、保護者回答 70.1% (前回 77.5%) であった。児童は挨拶できるようになっていると感じており、目標値を大きく達成している。しかし、保護者は逆に挨拶できていないと感じており、目標値には届かず、低下している。</li> <li>・「家族で必ず朝の挨拶を交わしている」に関する保護者アンケートでは、平均 64.3% の家庭で必ず朝の挨拶を交わしていると感じており、時々挨拶を交わしている (27.6%) と合わせると 91.9% となり、目標はほぼ達成されていると感じられる。</li> </ul>				児童		保護者		1 学期	3 学期	2 学期	3 学期	86.8%	87.7%	77.5%	70.1%		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全体	1 学期	69.2%	70.4%	81.3%	78.0%	81.1%	78.3%	76.4%	3 学期	73.0%	66.6%	53.3%	61.9%	65.7%	65.2%	64.3%
児童		保護者																																						
1 学期	3 学期	2 学期	3 学期																																					
86.8%	87.7%	77.5%	70.1%																																					
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全体																																	
1 学期	69.2%	70.4%	81.3%	78.0%	81.1%	78.3%	76.4%																																	
3 学期	73.0%	66.6%	53.3%	61.9%	65.7%	65.2%	64.3%																																	
最終評価	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度は昨年度に引き続き「あさがおさいた運動」の中でも特に「おはようございます」の挨拶を重点に取り組んできた。中学校との連携事業、挨拶月間の設定、縦割り班での挨拶運動、学年企画型の挨拶運動、PTA 参加の挨拶運動等、児童会が呼びかけ、どの学年にとっても動機付けになるような活動を工夫してきた。今後も挨拶をすることのよさ、挨拶が返ってきたときの心地よさ等を感じられる活動を工夫したい。</li> <li>○ 具体目標「自分から進んで挨拶をすることができる」は、昨年度 (81.3%) からの継続目標であり、比較すると 6.4% 上昇していることが分かる。</li> <li>△挨拶運動等直後は、活発な挨拶が行われるが、継続して明るい挨拶を響かせることが難しい。挨拶の習慣付けはこれからも指導が必要である。</li> <li>△どの項目も子供たちの意識と保護者の意識にずれが生じている。この感覚のずれを解消するには、アンケートの問い方を見直す必要がある。また、保護者に、学校での取組を発信したり、「自分から進んで挨拶ができる子供」を目標にして家庭にも呼びかけたりしていきたい。</li> </ul>																																							
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、地域、友達への挨拶とも、大切なアクションプランの取組だったと思う。「B」評価ではあるが、子供からの取組が家庭や地域に波及し、挨拶があふれる地域になるよう継続して取り組んでほしい。</li> <li>・子供の地域での挨拶は、ほぼ明るく行われていると思う。ただ、家庭内ではなかなかうまくいかないとの声も耳に入る。</li> <li>・子供と保護者に意識のズレがあったと書かれているが、アンケートの仕方に原因があるのではないかと思われる。</li> <li>・ホームページで発信された「桃太郎挨拶ツアー大作戦」等、取組が楽しく工夫されていて、とてもよいと思う。</li> </ul>																																							



## 令和元年度 アクションプラン報告

### ◇アクションプラン1 (うんと考える子)

<b>重点課題</b>	◆ 読書環境を整え、読書の習慣化を図る。																								
<b>具体目標 数値指数</b>	・各学年で設定した「年間目標冊数」の達成率80%以上 (1年:40冊 2年:50冊 3年:50冊 4年:50冊 5年:25冊 6年:25冊)																								
<b>今年度の 取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月・水曜日の朝活動に読書タイムを設け、本に親しむ時間を確保する。</li> <li>・図書ラウンジや教室の読書環境を整えるために、学期ごとに市立図書館より最新刊の本を貸し出してもらおう。</li> <li>・春と秋に読書強化週間を設定する。(親子読書の推奨)</li> <li>・学年ごとに共通の本を読み、感想を書いたり、話し合ったりする。</li> <li>・子供たちの読書意欲が継続するように、学期ごとの目標冊数を設定したり、読書記録の記入を忘れないように教師が声かけをしたりする。</li> <li>・教師や学校司書が子供におすすめの本を紹介したり、読み聞かせや感想交流を積極的に取り入れたりする。</li> <li>・図書委員会が、おすすめの本の紹介や多読賞の表彰等で意欲を高める。</li> <li>・学校司書に協力を得て、子供が本を手に取りたくなる「おすすめの本のコーナー」をつくり、多様な読書に親しむことができる環境を整える。</li> </ul>																								
<b>結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期</td> <td>100%</td> <td>69%</td> <td>71%</td> <td>50%</td> <td>40%</td> <td>92%</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td>100%</td> <td>96%</td> <td>89%</td> <td>83%</td> <td>95%</td> <td>100%</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年間目標冊数を達成した子供の割合は94%で、目標を達成することができた。</p>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	1学期	100%	69%	71%	50%	40%	92%	69%	3学期	100%	96%	89%	83%	95%	100%	94%
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体																		
1学期	100%	69%	71%	50%	40%	92%	69%																		
3学期	100%	96%	89%	83%	95%	100%	94%																		
<b>最終評価</b>  <b>A</b>	<p>○目標冊数を達成した割合は94%で、目標を達成することができた。(昨年度は85%)</p> <p>○図書室の利用者数、貸し出し冊数共に昨年を上回った。</p> <p>○図書委員会の読書意欲を高めるための企画(読書ビンゴ、読み聞かせ、しおりのプレゼント等)がとても効果的であった。特に、図書ビンゴ等のイベントの期間中の来室者数が多かった。</p> <p>○読書月間(10月～11月)に親子読書を実施した。この取組をきっかけに家族で図書館に本を借り行くようになったり、継続的に親子読書を行ったりする家庭が増えた。</p> <p>○学年全員で同じ本を読む共通読書を実施した。読後に意見交流を行い、自分の感じ方と異なった考えに触れることができ、読書の楽しさを改めて感じる事ができた。</p> <p>○図書担当教諭と図書館司書が連携して、子供が本に手を伸ばしたくなる読書環境を整えた。(学期毎に市立図書館から本を借りる、子供の要望に応えた図書購入等)</p> <p>○反省を生かし、読書記録の習慣化を図るためにこまめに声かけを行った。</p> <p>○下学年が抵抗なく本に親しめるように、地域ボランティアによる読み聞かせを継続して行った。子供たちは聞く力をより高めることができた。</p> <p>△読書に抵抗感をもっている子供が固定化している。そこで今後は、一人一人の子供の実態に応じた支援や読書環境の整備に努める。(例)電子書籍、リーディングトラッカーの活用、興味のある分野の本や学習マンガ、絵本を教室内の読書コーナーに整備</p> <p>△多くのジャンルの本に触れる機会を意図的につくっていく。</p> <p>△読書で身に付けた力を学力向上につなげていくための方策を考えていく必要がある。</p>																								
<b>外部評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を遙かに超える結果は、本当に素晴らしい。今後は、読書で得た知識を学力向上につなげていくことを願う。</li> <li>・時間に追われ、様々なメディアに囲まれて生活している今の子供たちにとって、読書の時間を作るのもなかなか大変なことである。学校での取組をきっかけにして、少しでも本が好きな子供が増えたらよいと思う。</li> </ul>																								

◇アクションプラン3 (つよいからだの子)

重点課題	◆ よい姿勢を心がける子供の育成 (とやまゲンキッズ作戦の活用と一人一人の背骨チェックを通して)																
具体目標 数値指数	・「姿勢に改善が見られた」子供の割合、70%以上を目指す。 (6月と1月末を比べて)																
今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の子供一人一人の姿勢をチェックし歪みを調べることで、まず実態を把握する。</li> <li>・朝の会や体育の時間に、各学年の実態に応じて体幹を鍛える運動を取り入れる。</li> <li>・家庭でも取り組むことができる運動を学年だよりや保健だより等で、お知らせし啓蒙を図る。</li> <li>・給食時間中に、姿勢チェックタイムを設けることで、食事中も自分の姿勢を見直す。</li> <li>・11月の学校保健委員会で昨年度に引き続き、姿勢の維持と健康をテーマにした集会を実施する。</li> <li>・背中ピン週間を設け、学習時間や給食時間に姿勢を意識できるようにする。そして実態に応じた保健指導を行う。</li> <li>・今年度も業間運動に「宇奈月チャレンジタイム」を4月から週2回実施する。マラソンやなわとびに加えて、遊具を使った運動等のいろいろな動きを取り入れた活動を行うことで、敏捷性や持久力の向上を目指すとともに、体を動かすことで基礎的体力を養う。</li> </ul>																
結 果	<p>・全校の子供一人一人の姿勢をチェックし、6月と2月の結果を比較したところ、姿勢に改善が見られた子供の割合が70%を上回った。</p> <table border="1" data-bbox="325 922 1433 1088"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>全校</td> </tr> <tr> <td>達成率 (%)</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>83</td> <td>60</td> <td>71</td> <td>62</td> <td>71</td> </tr> </table>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	達成率 (%)	77	75	83	60	71	62	71
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校										
達成率 (%)	77	75	83	60	71	62	71										
最終評価  A	<p>○とやまゲンキッズ作戦で「姿勢に気をつけている」と答えた児童の数は全校で41.1%と、2学期よりも7.3%増加した。「3015 運動 宇奈月小バージョン」の活用や、学校保健委員会、背中ピン週間等、継続的な取組により姿勢への意識が高まったと言える。特に学校保健委員会でのカイロプラクターの先生の話が、子供たちの心に響いたようで、「よい姿勢でいたい」という子供たちの意識が高まった。よい姿勢が学力向上の基になることを子供たちがよく理解していた。</p> <p>○背骨チェックで、「姿勢に改善が見られた」子供の割合がどの学年も大変多くなり、全校では71%の児童の姿勢に改善が見られた。</p> <p>○2学期に行った「背中ぴん週間」では、担任からの声かけも多く、チェックカードでは、「姿勢に気をつけた」と答えた児童が多かったことから、意識が高まっていたことが分かる。</p> <p>○背中ぴん体操を継続的に取り組んだことにより、姿勢を保持できる子供が増えた。3015 運動も行い、積極的に体幹トレーニングに取り組んだ成果と言えよう。</p> <p>△姿勢は改善されたものの、ランチルームでの食事の様子を見ていると、まだひじを付いている子供が多い。今後は、マナー面での指導もしていく必要がある。</p>																
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・70%の子供の姿勢に改善が見られたのはすばらしい。姿勢は意識しないとすぐにくずれてしまうので、今後よい姿勢が継続できるよう取り組んでほしい。</li> <li>・姿勢をよくすることで、走力が上がったり、字が上手く書けたりという具体的な事柄と結び付けば、子供たちの意欲も高まると思われる。</li> <li>・背中ピン週間等、よい姿勢を意識する時間を設けるのは、自分の姿勢を見直すよい機会となっている。家庭においても子供と食事をとって、姿勢の悪い時の声かけなども行ってほしい。勉強の際の姿勢は視力改善にも関わってくるので、是非継続してほしい。</li> </ul>																